



# 山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620  
Yamanashi Chuo Rotary Club 2016-2017

事務所 〒409-3812  
山梨県中央市乙黒 158-2 (山梨ビジネスパーク(株) カルク内)  
TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>  
FAX 055-273-8010 E-mail [rotary@yamachuo-rc.net](mailto:rotary@yamachuo-rc.net)

## Weekly Report

会 長	石原 満彦	副会長	田中 雅貴
幹 事	竹野 満	副幹事	田中 雅承
会 計	小池 章治	会 報	田中 雅承

2016~2017 RI 会長 ジョンF.ジャーム  
第2620地区 ガバナー 生子 哲男  
【例会日】毎週金曜日 12:30~13:30  
【例会場】(株)カルク (055-273-5344)

2016年 8月 25日 第1736回例会

### 本日のプログラム

#### 第18回 たべもの異文化交流会

### 会長挨拶

#### 「第25回峡中ジュニアサッカーフェスティバル開催」

会長 石原 満彦

お早うございます。クラブの皆さん早朝より例会にご出席ご苦労様です。このように快晴に恵まれ「第25回峡中ジュニアサッカーフェスティバル」が開催されます事は喜ばしい事です。

25年の時をつつがなく青少年奉仕の一環として「峡中ジュニアサッカーフェスティバル」を支えてきた事と峡中地区のサッカー指導者の方々の熱い情熱がこの様に大きな組織までに成長し、8月20日~21日の2日間の熱戦は青少年に大きな夢や希望を、そして自信をも育んでゆく事でしょう。



私どもロータリアンの方向性はこうした青少年の夢や希望・自信をお手伝いできることが目的でもあると思います。

最近のサッカー熱も沸騰してJリーグからヨーロッパ諸国、ロシアなどの有名なサッカークラブへ移籍し大活躍をしている選手もいる次第です。



今年またJ1残留に掛けたヴァンフォーレ甲府は現在13位の位置にありますが、10位以内に留まって欲しいものですね。日本でも最近幼児からのサッカー教室、サッカー英才教育と家族ぐるみで応援している様に見えますが、くれぐれも子供さんの意志・興味を尊重してあげてください。

青少年が夢を育む時期に親の期待は無用のものです。一時期野球も、柔道にも似た様なことがありました。

しかし夢をかなえるのは本人自身なのです。ロータリーの精神もそこにあると思います。

ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分が如何に素晴らしい影響をもたらす事が出来るかが見えてくる、地域に対する思いも青少年の育成も共通点として対処できると考えます。4年後の東京オリンピックも待っています。

本日は、早朝より例会出席ご苦労様でした。この後開会セレモニーを宜しくお願い致します。

**幹事報告** **幹事 竹野 満**

1. 本日は「第25回峡中ジュニアサッカーフェスティバル」開催を兼ねての早朝例会となり、会員の皆様には早朝よりご苦労様です。宜しくお願い致します。
2. 次回の例会は8月25日(木)「国際たべもの異文化交流会」です。「山梨大学国際交流会館中庭」にて午後4時30分より行います。  
又、翌日の26日(金)は振替休会と成りますので、お間違えの無い様、宜しくお願い致します。
3. 米山奨学生の駱 予備さんが「国際たべもの異文化交流会」に参加致しますので、宜しくお願い致します。
4. 例会変更のお知らせ  
なし

**前回の例会記録**

**第1735回 出席報告**

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	9名	2名	81%	4名	100%

**届出欠席者** 田中 雅貴君 石原 満彦君

**届出失念者** なし

**出席免除者** なし

**メイクアップ** 田中 雅承君 樋貝 浩久君  
石原 満彦君 田中 雅貴君

**ビジター** なし

**備考** 第25回峡中ジュニアサッカーフェスティバル 早朝例会

**ニコニコ BOX**

• なし

**★ 職業奉仕卓話 ★**

**「自分のためにボランティアを(2)」**

**霧島 洋子先生**

ただしエイジングに耐えるのはきちんと手をかけ心をこめて作られたものだけで、大量生産の安物や軽薄な流行りものは古くなったらおしまい、ゴミの山に直行するしかない。人間も同じことで、若さをチャホヤされて舞い上がり、自分磨きもしないで浮かっているキャピキャピ娘なんで、あっという間に掃き捨てられていく。そう、アメリカを大本山にして世界に広がった若さ信仰と使い捨て文明は一体なのだ。

私が若かった頃は、幸いまだそれほど若者の天下ではなかったから、年輪の価値を認識できたし、しっかりと下積みの修業もして順序よく人生の階段を登ってくる事ができた。

そして今や人生の収穫の秋の「林住期」である。残り時間がどんどん減っていくことに焦りを感じ始める年代でもあるが、仕事をスローダウンさせたり引退したりすれば自分の時間は増える一方なのだから、差し引き持ち時間はむしろ豊富になり、今までに無く自由な時間遣いを楽しめるわけである。旅行とかスポーツとか創作とか、もっと時間があればと諦めていたことがいくらかもあるだろう。暇ができるとお金が無いというパラドックスもあるが、そんな観念におとなしく呪縛されていることはない。時間さえ惜しまなければ金が無くても楽しめることはいくらだってある。読書、散歩、庭いじり、料理と古典的な楽しみだけでも退屈する間はないのに、近頃はインターネットでいながらにして世界を遊弋できるし、気功や瞑想の普及で見えない世界にアクセスすることも容易になりつつある。本当に余暇が面白くて堪らない時代に、私たちは生まれ合わせたのである。ラッキーなことではないか。(続く)

**次回のプログラム 9月2日(金)**

**会員卓話 田中 雅貴 会員**